

誕生日表制作に見る造形活動の傾向と課題

Judging a Formative Arts Education Assignment of Making Calendars for Birthdays

(2005年3月31日受理)

木内 菜保子

Naoko Kiuchi

Key words : 子ども, 誕生日表, 造形活動, 経験

抄 録

子どもにとって特別な日である誕生日を祝う1つの造形物として、誕生日表が挙げられる。本研究では授業課題として取り入れている「誕生日表制作」の制作過程と作品から、学生の造形活動についての傾向と課題を考察する。その結果、造形活動の経験の量が、他の造形活動に取り組む姿勢や造形作品の完成度に影響を与えることが分かった。また、造形活動を経験すること、およびそこから得られる知識や技術を他の造形活動に生かせる力を身につけさせることが今後の課題として得られた。

1. はじめに

誕生日は、子どもにとって特別な日である。それは、両親や周囲の人々にも、子どもの成長の節目として捉えられる特別な日である。もちろん、子どもの成長は心身の諸側面が相互に関連し成し遂げられ、年齢だけで発達を捉えることは出来ないが、1年に一度の誕生日は、成長を感じる事の出来る日であると言えるだろう。

最新保育用語辞典では、子どもにとって誕生日は年に一度の待望の日であるとし、それを祝う誕生会の意義を次のように解説している。幼稚園や保育所の園全体またはクラス別で月に一度行われる誕生会は、その月に生まれた子どもの成長の節目を祝う大切な園行事である。そのねらいは、誕生した日から今までの両親や周囲の人々の愛と守りがあったことに気付かせ、それぞれの年齢の自覚と自信を持たせることにある。また、誕生会の喜びと楽しさの経験から、他の子どもの誕生日も心から祝ってあげたいという気持ちが育つものである。このように子どもにとって特別な日である誕生日は、子どもの心身

の発達のあらゆる面に幅広い意味を持つと言える。

子どもの生活の中で誕生日会と同じように、自分や友達の誕生日を意識させるものに誕生日表がある。誕生日表とは、子どもの名前と誕生日がわかる壁面装飾であり、クラス全員の誕生日で作る1年間の誕生日表や、月毎にその月に生まれた子どもの誕生日で作るものもあり、カレンダーとは大きく異なる。子どもにとっての誕生日の重要性を踏まえると、誕生日表は単なる壁面装飾の一部ではなく、子どもが誕生日を楽しみにする気持ちを大切にするような造形物でなくてはならない。そこで筆者は、誕生日表の制作を授業の課題として取り入れている。

本研究は、授業課題「誕生日表の制作」で制作された誕生日表とその制作過程から得られた学生の造形活動に関する傾向を分析すると共に、造形教育の課題を考察するものである。

2. 研究方法

(1) 分析対象

2004年度授業「幼児造形A」で、グループ活動の課題として制作した「誕生日表」を分析の対象にした。授業クラスが前・後期共に2つあり、それぞれのクラスで制作しているため、①、②のそれぞれに各月2種類あり、合計24種類になっている。

①2004年度前期制作「誕生日表1～12月」24種類

②2004年度後期制作「誕生日表1～12月」24種類

(2) 授業「幼児造形A」履修者

上の①、②に表記してある作品を制作したのは、下に示す履修者である。上にも表記してあるように「幼児造形A」の前期履修者を①に、後期履修者を②に示している。以後、これらを集団①、集団②と記すこととする。

①2004年度中国短期大学保育学科1年生 88名

2004年度中国短期大学音楽学科1年生 4名

②2004年度中国短期大学保育学科1年生 87名

(3) 授業説明

「幼児造形」の授業は中国短期大学保育学科の学生を対象に「幼児造形A」と「幼児造形B」に分けて、前期と後期に開設されている。本年度は集団①が前期に「幼児造形A」、後期に「幼児造形B」を、集団②は前期に「幼児造形B」を後期に「幼児造形A」を履修している。「幼児造形A」では、課題を7人から8人で構成するグループ活動または個人活動で行い、保育園、幼稚園などの現場に出て必要とされる知識や技術を習得させるための具体的な7つの演習課題を設けている。本研究の分析対象とした「誕生日表」は、グループ活動の課題の1つとして制作された物である。また「幼児造形B」では保育園、幼稚園などの保育室の壁面構成の小型模型制作を課題としている。この壁面構成制作は個人活動で、1月から12月のそれぞれの月について、自然や季節、年中行事などの適切な題材を選択し制作するものである。

(4) 「誕生日表の制作」について

誕生日表は、授業クラスの学生の誕生日をもとにして制作した。このため、月によって人数が一定ではないが、

誕生日の人が居ない月はなかった。授業クラスは6つに分けているので、各グループが2ヶ月を担当する。まず、授業クラス全員の誕生日を一覧表にし、グループ毎に自分達が作りたいと思う月を立候補により決めた。

誕生日表の大きさは、八つ切りケント紙を台紙にして大きさの目安とし、台紙にすべてが収まらない制作も認めた。また、平面、立体にはこだわらず、制作の材料はそれぞれのグループで工夫するように促した。

3. 結果

表1に、分析の対象とした「誕生日表」に用いられている題材を整理した。各月の4種類の比較を分かり易くするため、集団①が制作した作品は①a、①b、集団②が制作した作品は②a、②bと表した。

次に、①aの1月を具体例として表を解説しよう。これは前期履修者である集団①の1月の作品である。表1段目にある「風船を持つウサギ」は誕生日表を簡単に説明するものであり、作品の主題として筆者が考えた。2段目には、誕生日表の中で登場する人間や擬人化されて表現されている動物を記した。例とした作品ではウサギが擬人化されて風船を持っていたので、「ウサギ」と記した。また、生き物でなくても、特に目や口などが描かれて表情が表されている物、擬人化されている物は表2段目に挙げている。3段目には、擬人化された物以外に誕生日表に作られた部分を記した。また仕掛けのあるものについては、3段目に「※」を用いて簡単に説明した。説明の出来ない部分や人物や擬人化された動物が描かれていないものについては、「—」を記している。

4. 考察

(1) 活動への取り組み

制作の構想や題材、分担など、グループ内での活動の取り組みについては、学生の自主性に任せた。集団②の1グループだけが、部分毎に担当を決めて、動物ばかりを作る者や木の葉ばかりを作る者など、グループ全体で2ヶ月分を制作していた。集団①と他の集団②の合計23グループは、グループを半分に分け月毎に担当を決めて制作していた。

制作の構想について話し合いが上手く進むグループは、円滑に制作活動に進めることは予想されることであり、本授業においても予想通りの展開が認められた。また作ったり描いたりすることを好きだったり、得意とする学生が入っているグループが、話し合いや制作など効率良く早く進めることが出来るのではないかと考えられ、制作過程をグループで比較してみると、造形を好きだとする学生の多いグループの方が活動の展開は早かった。しかし本授業の研究では、授業クラス内でのグループの比較よりも、集団①と集団②の比較で差が大きいことが分かったと言える。集団①は「誕生日表を作りなさい」という課題に対して、まずグループ内を2分割し担当する月を決めた後、3人から4人の小人数での話し合いは「自分達が何を作ることが出来るのか」や「どの様に名前や日付を描くか」などが主題になり、実際の制作活動に取り組むまでの時間が長く必要だった。一方、集団②は、集団①同様グループ内を分割することに始まるが、その後の小人数での話し合いでは担当する月や季節に合った「題材は何がよいか、自分は何を作りたいか」が主題だった。その後、題材に合わせた細かい部分など、話し合いは具体的に進められていた。

この具体的な話し合いの場面から、集団②の方が、学生個々が持つ造形表現の領域の広さが分かる。これは集団②が個人活動として「壁面構成の制作」を経験していることが影響しているのではないかと考えることが出来る。何故なら壁面構成を12ヶ月制作することで、季節や年中行事に関して知識が深まっていて、学生個々が展開できる造形表現の領域が広がっていると考えることが出来るからである。

(2) 作品の特徴

表1のそれぞれの月の三段目に注目してみると、集団①が制作した誕生日表に比べ、集団②が制作した物の方が、よりたくさんの部分から成り立っていることが分かる。特に4月、5月、6月、7月では、集団①と②の作品には差が大きかった。

4月について見てみよう。表1から集団①の誕生日表の構成は、①aは「新入生の少年、少女」と「桜」、①bは「擬人化された新入生として表現されたウサギ、クマ、リス、ヒヨコ」と「桜」である。新入生として表現され

ているのが人間か動物かの違いがあるにせよ、この2つは同じような構成になっている。ところが、集団②が制作した誕生日表では、②aでは列車を動かせるような仕掛けが、また②bではランドセルのふたを開くと名前が見えるといった仕掛けが作られていて、仕掛けがあることは共通するが、全く異なった主題で制作されている。また2つに共通することとしては、誕生日表の主軸となる列車やランドセルの他に、作られている部分が多いことが挙げられる。

次に5月については、①a、①bの2作品はほぼ同様の構成で、主題となったこいのぼりに日付や名前が記されている。一方、②a、②bの2作品でもこいのぼりが装飾物として使われているが、全く異なった構成である。②aは黒人、金髪の白人、日本人の3人の子どもを国際色豊かに表現し、宇宙と地球の上に仲良く3人の子どもが手をつないで並んでいる様子を主題として、その周囲に誕生日の日付と名前が書かれたほうき星が表現されている。これを制作したグループは「テーマは国際化、みんな仲良く」と制作活動そのものを楽しみながら進めていた。この作品は全体の構成力が強く、作品に楽しさが表現されており、造形制作に対する感性の幅が広いと言える。また②bを制作したグループでは「こいのぼりが風に泳ぐ姿を表現したい」とはっきりとした目的があり、その為の明確な思考錯誤や制作相談があった。そのこいのぼりに乗っているように表現された子どもに日付や名前を付けることで、誕生日である子どもに自分が描かれているような気持ちを持たせることが出来るだろう。このような物語性は、子どもが誕生日を楽しみにしている気持ちを大事にする着想であると言えるだろう。

6月については、次のことが言える。①a、①bは雨やアジサイ、カエルが装飾物として表現されていて、梅雨が主題である。同様に②a、②bも梅雨を主題にしているが、傘を差したウサギやカエルなどが雨を楽しむ様子が表現されていて物語性がある。この物語性があることは、前述の様に造形作品に楽しさを与え、子どもが興味を持ち易くなるだろう。

7月の作品では、5月と同様のことが言える。①a、①bは笹に飾られた短冊に誕生日の日付と名前が記され、7月の年中行事である七夕を主題にしたほぼ同じ構成だった。②aは「海で遊ぶ動物たち」、②bは「虫捕り」が

表1. 「誕生日表」に用いられた題材表

月	①a	①b	②a	②b
1月	風船を持つウサギ	凧上げ	独楽遊び	書初めを持ち並ぶ子ども
	ウサギ	少年, 少女	ウサギ, キツネ, リス, ネコ	少年, 少女
	ウサギ, イルカ, ネコ, ネズミの顔形の風船	凧, 門松, 餅	凧, 独楽, 門松	書初め, 晴れ着, 梅 ※書初めが日捲りカレンダーの様で, めくると名前
2月	バレンタイン	バレンタイン	バレンタイン	節分(豆まきする子ども)
	少年, 少女	鬼(赤, 青)	鬼(赤, 青, 黄緑, ピンク, 水色, オレンジ)	少年, 少女, 鬼(赤, 青)
	トリュフ・チョコ	ウサギ, ソウ, ネズミ, クマ, ネコの顔の形	ケーキ	升, のり巻き, 金棒, 虹
3月	ネコのお雛様	お雛様	お雛様	お雛様
	ネコ	雄雛, 女雛	雄雛, 女雛, 三人官女	雄雛, 女雛, 三人官女
	ネコの雄雛と女雛, 花形	チョウ, 桜, つくし, 折り紙の花形切り紙	紙コップの雛人形, 桃の花 ※雛人形の腕部分に日付, 開くと名前がある仕掛け	菱餅, お花紙の花
4月	入園式	漠然と並ぶ名前	動く列車と花畑	ランドセルと子どもの笑顔
	少年, 少女	ウサギ, クマ, リス, ヒヨコ	ウサギ, クマ, ライオン, サル, ブタ, リス, 小鳥	少年, 少女
	桜	桜	列車, 風船, 花, 綿の雲 ※列車を動かせる	ランドセル, ノート, 消しゴム, 桜, 折り紙のカエル, 折り紙のチョウ ※ランドセルを開くと名前
5月	こいのぼり	こいのぼり	こいのぼりと世界の子ども	こいのぼり
	少年	——	黒人, 金髪の白人, 日本人	少女
	こいのぼり	こいのぼり, 折り紙の兜	こいのぼり, 地球, 流れ星, 手をつなぐ異人種の3人の子ども	こいのぼり, こいのぼりに乗る少女, 折り紙の兜
6月	梅雨	梅雨	梅雨	梅雨
	少女	カエル, カタツムリ	ウサギ, カエル, ソウ, クマ, リス	カエル, カタツムリ
	カエル, アジサイ	雨, アジサイ	虹, 雨, 傘, アジサイ	雨, 傘
7月	七夕	七夕	海で遊ぶ動物たち	虫捕り
	——	織姫, 彦星	ウサギ, ライオン, クマ	少年
	笹, 短冊に名前, 星	笹, 笹飾り, 短冊に名前, 天の川, 星	太陽, 波, カニ, タコ, イカ, カメ, 熱帯魚, やしの木, 鳥	虫捕り網, 虫かご, 木, 木の葉, カマキリ, チョウ, クワガタ, カブトムシ

誕生日表制作に見る造形活動の傾向と課題

月	①a	①b	②a	②b
8月	海	海	夏祭りの夜店	虫捕り
	クジラ, ヒトデ, タコ, カニ, カメ	少年, 少女, クジラ, ペンギン	少女	少年
	折り紙の魚	船, やしの木, 島, 太陽, 魚型に名前	花火, 夜店 (綿菓子, リンゴ飴, ヨーヨー, お面)	木, 折り紙のセミ, 折り紙のチョウ, 虫捕り網 ※羽を開くと名前がでてくる仕掛けのカブトムシ, クワガタ, トンボ
9月	案山子と稲穂	芋掘り遠足	お月見の音楽会	楽譜と音符
	案山子	ウサギ, リス, クマ	ウサギ, フクロウ, リス, クマ, タヌキ, キツネ, バッタ, 木の妖精, 月	ヒヨコ, タヌキ, ウサギ, リス
	案山子, 赤トンボ, 稲穂	芋, リュック, おにぎり, もみじ, キノコ, 赤とんぼ	木, 木の葉, 月, キノコ, 切り株, 楽器 ※満月からウサギが飛び出し, 名前が見える仕掛け	木の葉, 五線譜, 音符, 楽器 ※音符を卵の殻に見たて, 中からヒヨコがでてくる仕掛け
10月	栗の木	ドングリ	ハロウィン	アンパンマン
	リス	リス	魔女	アンパンマン, メロンパンナ, ばいきんまん, ドキンちゃん, ホラーマン, かびるんるん
	折り紙の栗	折り紙のキノコ, もみじ, ドングリに名前	かぼちゃ, 魔女のほうき, 飴	かぼちゃ
11月	芋掘り	落ち葉と虫や動物の音楽会	森の音楽会	——
	ネズミ, モグラ, ミミズ	ミノムシ, ウサギ, ネズミ, イヌ, ワニ, ヒヨコ, キツネ, ネコ, リス, サル, カラス, ドングリ	ウサギ, タヌキ, リス, ネズミ, キツネ, クマ	リス, サル, アオムシ
	芋	着色した絵	紅葉, イチョウ, 落ち葉, キノコ, 楽器	紅葉, イチョウ, ドングリ, 栗, キノコ
12月	クリスマスツリー	クリスマスツリー	クリスマス	クリスマス
	折り紙のサンタクロース, 折り紙の妖精	——	サンタクロース, トナカイ	サンタクロース, トナカイ
	クリスマスツリー, 雪, 折り紙のベル,	クリスマスツリー, 雪, 雪だるま, ブーツ	クリスマスツリー, プレゼントの入った袋	プレゼントの箱, そり, 夜空, プレゼントの入った袋, 星

主題で、七夕は扱われなかった。これらの作品では多くの動物や虫が、折り紙や画用紙、ロール芯など様々な材料で作られており、造形表現の領域の広さが感じられる作品になっていると言える。

このような具体例からも分かる様に、集団②の制作した誕生日表の方が装飾物が多く、より凝った作品であり、登場人物や擬人化された動物などが多く作られていることから、物語性が高いと言えるだろう。

(3) 誕生日表と壁面構成

誕生日表は、壁面の一部を構成するものであり、壁面構成と関連する物であると考えることが出来る。例えば、5月の壁面構成が、壁一面に泳ぐこいのぼりで、その側にこいのぼりに日付や名前が書かれている誕生日表がある壁面を考えてみよう。誕生日表が壁面構成の一部としての役割を果たすように壁面構成の構想に組み込まれていけば、「同じ題材が使われている」とは考えられないだろうが、多くの場合「壁面もこいのぼり、誕生日表もこいのぼり」といった印象を与えてしまうだろう。それは、子どもにとって誕生日表も壁面も興味や関心の対象にならない危険性を含んでいるのではないだろうか。

壁面構成に取り上げられ易い題材は、筆者のこれまでの研究によると1月「正月」、2月「節分」、3月「桃の節句」、4月「新学期」、5月「端午の節句」、6月「梅雨」、7月「七夕」、8月「海」、9月「月見」、10月「体育の日」、11月「芋掘り」、12月「クリスマス」である。集団①の制作した誕生日表では、これらの壁面構成小型模型で見られた題材や表現方法が多く見られた。しかし、集団②が制作した誕生日表では、壁面構成と同じ題材を用いても表現方法の幅が広く、それぞれが全く異なる印象を与える構成だった。先にも述べた様に、これらの違いは集団の造形表現に対する経験が知識や技能の差を生じさせたことによるものだろう。

(4) 集団①と集団②の違い

活動への取り組み、制作過程、作品などを総合的に判断し分析すると、次のことが言える。集団①に比べて集団②の方が、活動が円滑に進められた。また同じ制作時間内でも、集団②の作品の方が登場人物や動物、装飾物が多く、作り込まれた作品になっている。

前述の様に、集団①は誕生日表制作が前期の活動であ

る。一方、集団②は後期に制作活動をした集団で、前期には個人活動として壁面構成の小型模型を制作している。この壁面構成小型模型は、季節や年中行事に合わせて1月から12月の月毎に制作するので、学生はそれぞれ自分なりの月や季節に合わせた造形制作のアイデアを持っていると言える。

これらのことから、制作過程や作品の違いを生じさせた要因の1つとして、集団①と集団②の造形制作についての経験の差が考えられる。言い換えると、集団①に比べて集団②は造形制作についての経験が多いので、造形表現に関する題材や素材の領域が広くなり、誕生日表制作が円滑に進められたのだろう。

5. 総括と課題

誕生日表制作を通して、学生の造形活動について次のような傾向や課題があることが分かった。ある造形課題を与えた場合、それそのものの経験がなくても造形活動の経験が豊富な方が、活動に対して積極的に取り組むことが出来る。さらに、それらの経験を踏まえて、題材を組み合わせたりすることで造形表現の幅を広げることが出来る。また造形に対して苦手意識などの抵抗感がある学生も、造形制作の課題を達成した経験があれば、それが自信となって、自分なりの表現を意欲的に出来る。本研究では、誕生日表と壁面構成に関連を持たせ易いため、壁面構成の経験がある場合と無い場合で、誕生日表制作のあらゆる面で差が生じたと考えることができ、経験の重要性が明らかになったと言える。

今後の課題の1つに、造形分野全体を通して、経験を生かせる力を身につけさせることが挙げられる。

参考文献

- 1) 森上史朗, 大場幸夫, 高野陽, 秋山和夫(編):「最新保育用語辞典」, ミネルヴァ書房(1998), p61.
- 2) 森上史朗, 高杉自子, 柴崎正行(編):「幼稚園教育要領解説」, フレーベル館(1999)
- 3) 芦野尚美他:「教育技術MOOK・幼児と保育 誕生日表・誕生日カード&誕生会」, 小学館(2004)
- 4) 木内菜保子:「保育の環境構成を目的とした造形制作に関する一考察」, 中国学園紀要 第3号(2004)